



# トッパーコルク防音・断熱床下地材 〈コルホーン 45N〉

## 施工説明書

この度は弊社の製品〈トッパーコルク防音・断熱床下地材〉をご採用いただき有難うございます。コルホーンの特性を十分に生かすため、本紙をお読みいただき、正しい施工をお願い致します。

### コルホーンの施工前に

- \* 集合住宅の場合、下地のコンクリートスラブ厚が150mm以上であることをご確認ください。
- \* コルホーンの表面仕上げ材には必ずトッパーコルクタイル（5mm厚）をご使用ください。この組み合わせにより遮音性能を十分に生かすことが出来ます。  
（注：組合等に提出する遮音性能の証明書もトッパーコルク製品での組み合わせでないとお出しできません。）
- \* 施工する下地のモルタルなどの含水率測定及び強度のチェックを行ってください。

下地が乾燥していることを下記の方法で確認してください。

- ①打設後3週間以上経過しているかを確認してください。
- ②同一打設時期でも最も乾燥しにくいと思われる部分の下地表面を最低一ヶ所選定し、1m×1m程度のポリシートの四周を布テープ（ガムテープ）止めにより被覆密閉する。24時間以上放置後シート下の材面が黒く変色していないことを確認してください。

- \* 施工する下地に不陸などの不具合がある場合、事前にレベリング材などで調整を行ってください。  
（下地の良し悪しで施工の仕上がりが異なります。）
- \* 片面塗布施工は専用接着剤TCE-4000を、両面塗布施工はトッパーコルクボンドSをご使用ください。（指定の接着剤以外で施工された場合、クレーム対象外になります。）
- \* 本品コルホーンと表面仕上げ材トッパーコルクタイル（5mm厚）を貼り合す場合の、接着剤は専用接着剤トッパーコルクボンドSまたはTCE-33V-3Sをご使用ください。

\*

### その他のご注意

- 物性上、コルクタイル3.2mm厚とコルホーンの組み合わせは出来ません。
- 専用接着剤は片面施工用と両面施工用があります。必ず接着剤の缶に付いているラベルの使用方法をお読みください。（貼り合せ可能時間や取り扱い方法が異なります。また気温・時間・塗布量など必ず確認してください。）
- 施工する室内の温度範囲は5℃～35℃です。

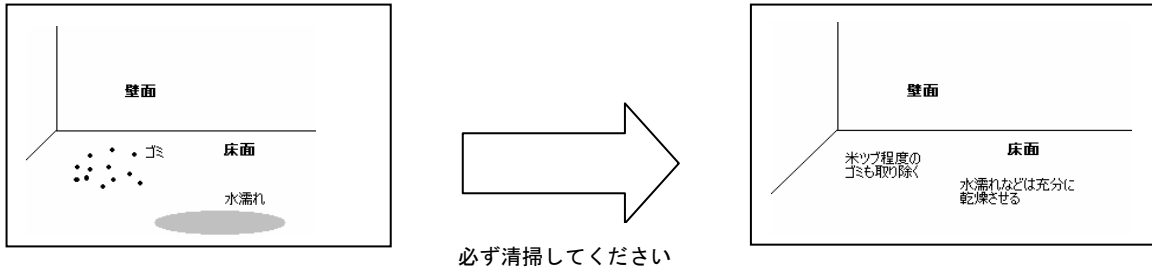
### ◇防音床下地材 コルホーン◇

品名・品番	サイズ	遮音性能	断面図
トッパーコルク防音・断熱床下地材 コルホーン45N	900×600×10mm	LL-45 (推定値)	

## 施工手順

### 1) 清掃

下地の凹凸や段差を事前に補修し、ゴミ・ホコリ・油分などを取り除き水分はよく乾かしてください。



### 2) 割付・墨だし

壁際のロス分を考慮し割付けたあと、貼り始め（第一列）の基準線の墨だしをしてください。

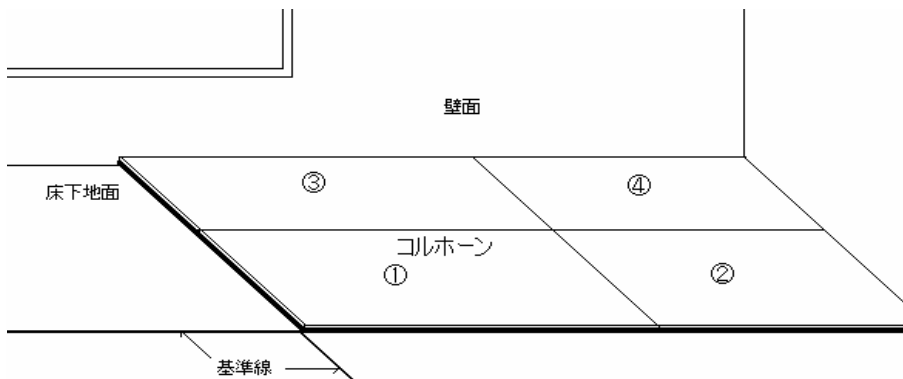
### 3) 接着剤の塗布

- ① 下地専用接着剤をクシ目ゴテで塗布してください。トッパーコルクボンドSをご使用の場合、コルク側にも接着剤を塗布してください。
- ② 塗布は塗り溜まりの無いよう均一にクシ目がはっきり目立つように塗り広げてください。
- ③ 接着剤の塗布後、オープンタイムを取ります。

（オープンタイムの時間は接着剤の種類、季節（温度）により異なります。接着剤の添付ラベルを参照してください。）

### 4) 貼り合わせ

コルホーンは先に引いた基準線が交差する所から貼り始めます。



#### 注意

\* 接着剤は一度にたくさん塗布せず接着剤の貼り合せ可能時間内に貼れる数量分を塗布してください。

5) 部屋の隅まわり、上がり框、敷居、ドア下枠部との取り合いには硬質コルクフェルト10mm厚（別売り）をカットして際根太にご使用ください。

6) 仕上用コルクタイルの基準線はコルホーンとの目地が重なる箇所がない様に割付を行ってください。

#### ご注意

- \* 下地専用接着剤TCE-4000は初期タック（接着力）が少ないので下地及び材料の状態により浮きを生じる場合があります。その場合、重し等で圧着、固定してください。
- \* 接着剤が床材に付着した場合、すぐに乾いた布で拭き取ってください。（水を含んだ布は不可）

◇商品及び施工についてのお問い合わせは

# 東亜コルク株式会社

本社 〒574-0056 大阪府大東市新田中町5-1

TEL 072-872-5691 FAX 072-872-5695